



にこにこだより

令和7年11月27日
垂井町立岩手こども園

「赤い実、見つけたよ」「どんぐりがあった!」と散歩で見つけた木の实を散歩バックや袋に入れて大事に持っている子どもたち。拾った木の实は園庭で遊んだり『お家の人に見せたい』と持ち帰ったりしています。散歩で拾った自然物を使って遊ぶ楽しさを味わっていきたく思います。

秋の遠足



お弁当、おいしかったよ! ありがとう



1・2歳児は菩提踏切まで友達や先生と手を繋いで、歌を歌ったり話をしたりしながら歩いていきました。菩提踏切ではあぜ道の坂で遊んだり貨物列車に手を振ったりして楽しんでいました。3～5歳児は北中学校に出掛けました。中学校の校舎を探検し、中学生が勉強をする姿やいろいろな教室を見たり中学生の歌を聴いたりしました。

園に帰ると、楽しみにしていたお弁当タイムです。「いただきま〜す」と元気な挨拶が聞こえてきました。遠足の準備、ありがとうございました。

岩手地区芸術文化祭



1・2歳児はクリスマスリース、3歳児はドーナツ、4歳児はお弁当、5歳児は大漁旗と自分の顔の作品を作り、岩手地区の芸術文化祭に出展しました。“花紙を丸める”“色のついた紙粘土を混ぜる”“紙粘土を丸めたり伸ばしたりして形にする”“鏡や写真を見ながら顔のパーツを描く”など考え、難しいところにも挑戦して作っていました。

七五三参拝



岩崎神社の宮司さんに来園いただき、遊戯室で七五三のご祈禱を行いました。5歳児は玉串奉納も行い、みんなで『大きくなりました』の報告と『これからも元気に過ごせますように』の願いを込めてお参りをしたり、ご祈禱した千歳飴袋を宮司さんからいただいたりしました。これからも子どもたちが元気いっぱい遊び、過ごすことができますように…。

北中学生との交流



4・5歳児が北中学校で3年生のお兄さん、お姉さんが作った手作りおもちゃで遊びました。輪投げや魚釣り、ボーリングなどいろいろなおもちゃに目がキラキラ輝いていた子どもたち。遊び方を手を添えて教えてくれたり「当たったね。すごい」「おしかったね」と拍手や声をかけてくれたりと優しい中学生に子どもたちの遊びたい気持ちも膨らみ、「楽しかった」「また遊びたい」「園でも作りたい」と笑顔の子どもたちでした。